

乳腺外科

部長 杉本 健樹

診療体制

乳腺外科は2024年4月に開設されて2年目を迎えました。常勤医は部長杉本健樹と柳川信子の乳腺（外科）専門医の2名体制ですが、乳癌の診断から放射線治療を除くすべての治療に対応するために、院外から週1回のペースで乳房画像ガイド下針生検の支援に船越拓（いずみの病院）手術支援に福永有紀子（仁淀病院）、緩和ケア診療に小河真帆（岡南病院）の3名が定期的に診療応援に来ています。また、認定遺伝カウンセラー田代真理（高知大学医学部附属病院）が隔週で遺伝カウンセリングを行っています。

患者さんの多様なニーズに答えるために多職種チーム医療で対応しています。具体的には週1回多職種カンファレンスを行い情報共有し、薬物の副作用対策に関しては医師の説明後に薬剤師外来での補足説明、化学療法中の脱毛予防のための頭皮冷却、末梢神経障害予防のための2重手袋やアピランスケアは乳腺センターおよび化学療法センターの看護師が中心となっています。

診療実績

乳腺センターが開設されて2年目の2025年1月から12月までの診療実績を紹介します。

通常のマンモグラフィや超音波検査に加えて、画像ガイド下針生検を118件、穿刺吸引細胞診を23件施行しています。また、2024年6月に加算を取得した遺伝カウンセリングも継続し、遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）診断のためのBRCA遺伝学的検査も年間で30件に達しました。ホルモン受容体陽性HER2陰性乳癌の化学療法の要否決定のための21遺伝子発現解析（オンコタイプDX®）も21件施行しています。

化学療法室を利用した新規外来化学療法の総件数は224件（のべ数）で、抗がん剤に加え抗HER2抗体や免疫チェックポイント阻害剤を中心とした分子標的薬や抗体－薬剤複合体を用いた治療も増加しています。

外来では通常ホルモン療法に加えCDK4/6阻害剤（パルボシクリブ、アベマシクリブ）やmTOR阻害剤（エベロリムス）の併用、再発高リスクのHBOC乳癌患者に対するPARP阻害剤（オラパリブ）、経口抗HER2薬（ラパチニブ）や経口抗がん剤（S-1、カペシタビン）などの投与も行っています。

乳腺手術は1年間で117件、原発乳癌の手術は102乳房（101人で同時性両側乳癌が1人）でした。

内訳は乳房全切除	46件	（内2例が乳頭温存皮下乳腺全摘術）
1次2期再建（ティッシュエクспанダー挿入）	2例	
乳房部分切除	56件	
併施された腋窩手術	センチネルリンパ節生検	80件
	腋窩リンパ節郭清	15件
その他	良性乳腺疾患	8件
	再発乳癌	7件

乳房再建は当院の形成外科および高知大学医学部附属病院の田中宏史郎医師の協力を得て行ってきました。今後は当院形成外科との連携で乳房再建を継続していく予定です。

温存乳房への照射や再発高リスクの乳房全切除後の胸壁＋鎖骨上領域照射および骨転移などへの緩和照射など放射線治療については患者さんの通院の利便性を考慮して放射線治療施設を持つ高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院のな

かから選択して直接紹介する、もしくは水曜日の放射線治療外来でコーディネートしていただき実施施設に紹介することで対応しています。

教育・研修について

高知県内で最も多彩な乳癌診療に対応できる施設として乳腺外科医の育成できる環境の整備をしてきました。2024 年度は柳川が高知大学医学部附属病院での研修の延長として乳腺外科専門医を取得することが出来ました。2026 年 1 月に乳癌学会の認定施設に、また、2026 年 4 月には高知大学医学部附属病院の連携施設として乳腺外科専門医の研修病院となる予定です。

乳腺外科専門医を目指す外科専門医の福永由紀子が 2026 年 4 月には当院に入職を予定していますし、今後は乳腺外科を希望する専攻医を積極的に勧誘していく方針です。また、当科の特徴である遺伝性腫瘍診療の担い手を育成するために遺伝性腫瘍専門医を育成する遺伝性腫瘍研修施設も 2026 年度内に取得する予定です。

2025 年 11 月 28, 29 日の両日、高知県民文化ホール、三翠園、ザクラウンパレス新阪急高知を会場に第 35 回日本乳癌検診学会を部長の杉本を会長に開催しました。近森病院のスタッフの皆様のご協力を得て 1,000 人を超す皆様に参加いただき盛会のうちに終了し、同年 12 月 7 日～2026 年 1 月 7 日に主要プログラムを中心にオンデマンド配信も行いました。

今後の課題

2024 年の乳腺センター開設以来、原発乳癌手術症例は年 100 例程度で推移していますが、現在は年間 150 例に達するペースで患者数が増加しています。スタッフの過大な負担にならないように配慮しつつ、質の高い医療提供体制を維持していく必要があります。

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
救命救急医療の基幹病院における乳癌診療の立ち上げ	○藤原キミ、杉本健樹、柳川信子	第 33 回日本乳癌学会学術総会	2025/7/10 ～12 東京都
乳癌周術期化学療法における頭皮冷却装置使用効果の検討	○藤原キミ、塚本綾、田井由紀、正瑞美香、田村一恵、柳川信子、杉本健樹	第 22 回日本乳癌学会中国四国地方会	2025/9/26 ～27 徳島市

講演

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
乳腺外科医から病理に伝えたい（お願いしたい）こと	杉本健樹	令和 6 年度 高臨技学術部 研修会 高技臨・4 県合同 研修会	2025/1/25 近森病院
乳癌の Precision Oncology	杉本健樹	Breast Cancer Board in Akita 2025	2025/6/21 秋田市
乳癌検診の現状と課題	杉本健樹	熊本県乳がん検診従事者講習会	2025/9/12 熊本市
乳癌検診の現状と課題	杉本健樹	福岡県乳がん検診従事者講習会	2025/10/4 福岡市
みんなで支える乳がん検診 ―受診率向上とプレスト・アウェアネス認知度向上を目指して―	杉本健樹	第 35 回日本乳癌検診学会学術総会 会長講演	2025/11/28 高知市
乳癌とは	杉本健樹	第 35 回日本乳癌検診学会学術総会 市民公開講座	2025/11/29 高知市
乳癌検診について	杉本健樹	第 35 回日本乳癌検診学会学術総会 市民公開講座	2025/11/29 高知市